

「犯罪・非行をしてしまった人たちが立ち直れる明るい社会にするために」

粕屋中学校 一年 吉田 湊介

現在の日本は犯罪や非行をしてしまった人のおよそ二人に一人が再犯におちいってしまい、七人に一人が住む場所がなく孤立してしまうことを皆さんは知っていますか。罪を犯してしまうことは良くないことですが、一回犯してしまった過ちを必死に償おうとしている人たちを受け入れずに一人にさせてしまったりしていませんか。

今の日本は犯罪や非行を犯してしまった人々が社会の中で孤立してしまい、再び罪を犯してしまうケースが跡を絶ちません。そのような社会では犯罪の件数も減らずに一度の罪を償うこともできないようになってしまいました。それではどうしたらいいのでしょうか。

まず一つ目は、刑期を終えて刑務所から出てきた人を保護してあげられるような施設をつくればいいと思います。最初に述べた通り七人に一人が刑期を終えた後に住む場所がなくなつて一人になってしまいます。そのようになってしまふとなかなか立ち直ることもできなくなつてしまいます。だから、住む場所がない人に住居と仕事などを提供してあげられるような施設があるといいと思います。そうするとその人の心も落ち着いてもう一度罪を犯すようなことがないようにできると思います。

次に2つ目は、犯罪を犯してしまった人たちが更生できるように支援をしてあげると良いと思います。犯罪を犯してしまった人たちには生活が苦しかったりする人も多いと思うから、その人が落ち着いて社会に馴染めるように支援してあげるといいと思います。

最後に3つ目は、ぼくたち自身が犯罪や非行を犯してしまった人々を悪い人と決めつけずに優しく接してあげたりすることが大切だと思えます。ぼくもあまり良くないうわさが広まっている人とはあまり関わりたくないと思うけど、実際に話してみるとその人にしかないような良いところを見つけられたり、実は一生懸命に努力しているような人だったり分かるので、すぐに悪い人だと決めつけずにその人をしっかりと認めてあげることが一番大切で誰にでもできるようなことだと思えました。

犯罪や非行を犯してしまったことは悪いことだけど、その一回の過ちだけでその人の人生が苦しいものになってしまつてはいけません。だから、本当に大切なのは犯罪や非行をなくすことだけで終わるのではなく、その人の将来のことも考えてその人自身の人生までが明るくなるような社会にすることが大切だと思えます。